

令和2年7月豪雨の記憶



国道208号旭町交差点付近

令和2年の7月6日から8日朝にかけて、梅雨前線が九州付近にかけて停滞。6日には線状降水帯が発生し、毎時100mm近くの雨が2時間以上も続きました。

この期間の雨は、**大牟田市の例年7月の1カ月分を上回る雨量で、観測史上最大**となりました。

市内では、広い範囲で浸水が発生し、2,300件以上の家屋が浸水被害にあい、一部の地域では、孤立した人がボートで救出されました。また、土砂災害や道路被害、農地の被害が多数発生しました。



国道389号樋口町交差点付近



消防による安否確認



宮原坑付近



八角目峠付近



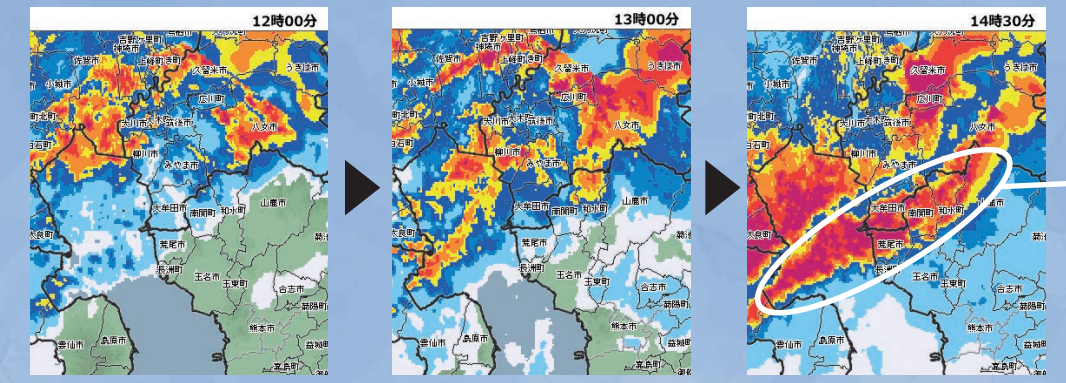
三池山

大牟田市の主な被害状況		
人的被害	死者	2人
	重傷者	6人
	軽症者	3人
住宅被害	床上浸水	1,266棟
	床下浸水	1,054棟
道路被害	損壊	190カ所
	埋没	11カ所
橋りょう	損壊	3カ所
河川	主な溢水・越水	30カ所
	がけ崩れ	102カ所
土砂災害	地すべり	4カ所
農林水産業被害		約12.8億円
商工業被害		約36億円

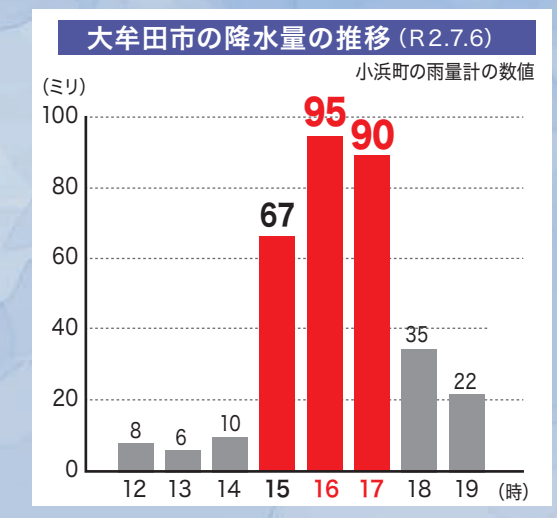
〈令和4年5月1日現在〉

大牟田市を襲った線状降水帯

発達した雨雲が次々に発生し、線状に通過・停滞する「線状降水帯」が大牟田市に掛かり、非常に激しい雨を降らせました。**線状降水帯の発生は予測が難しく、発生した場合には同じエリアに雨が降り続けることになるため、浸水や土砂災害が発生する危険性が急激に高まります。**



令和2年7月6日の雨雲レーダーの様子



令和2年7月豪雨では、雨の降り方が激しくなってから避難所に避難した人が増えました。その結果、**水に浸かりながら避難することになり、ずぶ濡れになってしまった人や、避難しようとしたときにはすでに浸水が深く、避難できなかった人もいました。**



大牟田川東泉橋付近



大黒町付近



末広町付近



冠水した北磯アンダーパス